

令和2年度(2020年度)



# 家庭学習の手引き

府中第二中学校区  
小学校5・6年生～中学生版  
(保存版)

## ☆ この手引きを利用するにあたって

この「家庭学習の手引き」は府中第二中学校、府中第十小学校、白糸台小学校に通う皆さんが、「将来、大人になった時にも活用できるような力を身に付けてもらいたい」という願いを込めて、作成されました。

皆さんは小学校から中学校までの9年間を通して、どのような力を身に付けていけばいいのでしょうか。

大切なことは、

- (1) 自分で課題（問題）を見付けることができるようにする。
- (2) 自分で課題（問題）を解決するための方法を考えることができる。
- (3) 自分で課題（問題）を解決し、さらにレベルの高い段階に取り組むことができる。

ではないかと考えます。

将来的に、学習は「誰かから教えてもらうものではなく、自分自身で進めていくもの」になります。大人に近づくにつれて、自分自身で学んでいく機会が多くなっていくのです。しかし、このような学習方法は、いきなり身に付けることはできません。毎日地道に取り組み、成長していくしかありません。

小学校1年生から中学校3年生の9年間の間に、

- (1) 「どうしてこうなっているのかな？」と、**いろいろなことに興味をもつ**とともに、「もしかしたら〇〇だからなのかな？」という**自分なりの考えをもつ習慣（クセ）を身に付けていく**こと。
- (2) 「不思議や疑問に思ったことをこうやったら解決できそうかな？」「まだよくわからないから〇〇で詳しく調べてみよう」といった、**解決のための自分なりの考えをもつようになる**こと。
- (3) 「実際に考えた通りやってみたらできた。（実際に考えた通りにやってみただけど、できなかった）、だから、次は〇〇に取り組んでみよう」とする、**常に前向きに取り組もうとする向上心を持ち続ける**こと。

ということが身に付いていくように、まずはできそうなことから、コツコツ進めていきましょう。

はじめは学校で勉強したことの復習でもいいのです。誰かの真似でもいいのです。自分が取り組みそうなことをしっかりと続けていくことが、とても大切です。

この手引きには皆さんが取り組みそうな例がたくさんついています。これを見本にしながら、だんだんと自分から進んでオリジナルの課題にも取り組んでいけるようになることを心から期待しています。

かていがくしゅう たっせいもくひょう  
**家庭学習の達成目標**

Lv 1	きょう じゅぎょう かだい もんだい いちどれんしゅう <b>今日の授業でやった課題(問題)を、もう一度練習する。</b>
Lv 2	しゅくだい ないよう いちど と く <b>宿題の内容をもう一度取り組む。</b>
Lv 3	どりる もんだい じぶん えら と く <b>ドリルの問題を、自分で選んで取り組む。</b>
Lv 4	きょう じゅぎょう たいせつ ぼいんと <b>今日の授業でやった「大切なところ」や「ポイント」をもう一度ノートに書く。</b>
Lv 5	まえ と く かだい たいせつ <b>前に取り組んだ課題についての、「大切なところ」や「ポイント」をノートにまとめる。</b>
Lv 6	きょうみ ことがら しら おも <b>興味をもった事柄について、調べたことや思ったことを書く。</b>
Lv 7	あす がくしゅう む よしゅう <b>明日の学習に向けて、予習する。</b>
Lv 8	きょうみ ことがら ぎもん かん ことがら しら <b>興味をもった事柄や、疑問に感じた事柄について、調べたことを図やグラフなども活用しながらまとめ、学習した内容についての自分の考えを書く。</b>

※いきなりLv 8を目指す必要はありません。各学年で示されている例を参考にしながら、9年間の中で、よりLvの高い取り組み方ができるようになっていきましょう。

# がくりよく ぼいんと 学力をつけるためのポイント

## 小学生向け

### ① 学力の基盤は生活習慣

学力というのは毎日こつこつと努力を積み重ねることでしか身につけません。そのためにはまず**生活習慣を整える**ことが重要です。

**生活のリズム**が乱れていては学習を続けることができなくなり、学力が身につけません。

1. 体調を整える。
2. 3度の食事をきちんと摂る。(特に朝食。朝食を摂らないと脳が活発に働かない。)
3. 遅刻をしない。(自分で起きる)
4. 忘れ物をしない。(持ち物は前日にそろえる)
5. 夜遅くに勉強しない。(早い時間にする)

### ② 学校での学習

授業での1時間は、家庭学習の2～3時間分にあたります。まずは**授業が勝負**です。(「絶対に分かるようになる」という気持ちをしっかり持って)

1. 先生の話や友達の意見をしっかりと聞く。「耳と目と心」で
2. 自分で考え、重要な内容は授業中に理解する。
3. 進んで発表する。(発表したことはよく覚えられます)
4. ノートは授業中にまとめる。気になったことはメモを取る。
5. 分からないことは友達や先生に質問する。「質問する力」も学力のひとつです。

### ③ 家庭での学習

たとえ宿題がなくても、毎日の家庭学習が必要です。授業で理解したことを時間をかけて覚えたり、また何回も練習したりすることが必要な教科もあるからです。だからと長い時間をかけるより、**集中して取り組む**ことが必要です。毎日必ず家庭学習をしましょう。

1. 宿題は必ずやる。
2. 決まった時間に、決まった場所で学習する。  
毎日、学年×10分程度、家庭学習に取り組むことが目安です。
3. テレビを見ながら…、音楽を聴きながら…といったような「ながら」勉強はダメ!
4. 自分にあつた学習の仕方を工夫しよう。声を出して読んだり、紙に何度も書いたりして覚えよう。要点をノートにまとめたり、図や表や式を書いたりすることも理解を助けます。
5. 『自主学習ノート』を作って、毎日、自主勉強をする。

### ① 学力の基盤は生活習慣

学力というものは毎日こつこつと努力を積み重ねることではか身につきません。そのためにはまず**生活習慣を整える**ことが重要です。

**生活のリズム**が乱れていては学習を続けることができなくなり、学力が身につきません。

1. 体調を整える。
2. 3度の食事をきちんと取る。(特に朝食。朝食を摂らないと脳が活発に働かない。)
3. 遅刻をしない。(自分で起きる)
4. 忘れ物をしない。(持ち物は前日にそろえる)
5. 夜遅くに勉強しない。(早い時間に)

### ② 学校での学習

授業での1時間は、家庭学習の2～3時間分にあたります。まずは**授業が勝負**です。「分かった」という気持ちをしっかり持って)

1. 先生の話や友達の意見をしっかり聞く。「耳と目と心」で)
2. 自分で考え、重要な内容は授業中に理解する。
3. 進んで発表する。(発表したことはよく覚えられる)
4. ノートは授業中にまとめる。気になったことはメモを取る。
5. 分からないことは友達や先生に質問する。「質問する力」も学力のひとつです。)

### ③ 家庭での学習

たとえ宿題がなくても、毎日の家庭学習が必要です。それは授業で理解したことを時間をかけて覚えたり、また何回も練習することが必要な教科もあるからです。だらだらと長い時間をかけるより、**集中して取り組む**ことが必要です。毎日必ず家庭学習をしましょう。

1. 宿題は必ずやる。
2. 決まった時間に、決まった場所で学習する。(遅くまで勉強しても思ったほど効果は上がらない。それどころか生活のリズムを乱し、朝起きられなくなる。)
3. テレビを見ながら・・・、音楽を聴きながら・・・といったような「ながら」勉強はダメ!
4. 自分にあった学習の仕方を工夫しよう。教科書や参考書をただながめていても効果は上がりません。声を出して読んでみたり、紙に何度も書いて覚えよう。要点をノートにまとめたり、図や表や式を書くことは理解を助けます。
5. 自分にあった問題集を購入して学習する。問題を解いたら必ず答えを確認し、間違えたものは2度、3度とやり直し、同じ間違いを繰り返さないことが大切です。
6. 『自主勉ノート』を作って、毎日、自主勉強をする。

## 保護者のみなさまへ

エビングハウスの忘却曲線というものがあります。一度学習して覚えたことでも、1時間後には56%忘れ、1日たつと74%忘れてしまうというものです。学校で習ったときに分かったつもりでも、1日たつと4分の1しか覚えていないということです。その後はゆるやかに減衰していき、1週間後には77%忘れてしまいます。これは**物事を記憶した直後が1番忘れやすい**ということを示しており、そこで何らかの復習をすることで、この忘れていく率（忘却率）は随分低くなることも証明されています。つまり、同じ復習をするのなら、**学校で習ったその日のうちに復習をすることが有効である**ということを示しています。家庭学習が学力を定着させるためには不可欠であるということです。

ところが、平成26年度「全国学力・学習状況調査」では、「家で、学校の宿題をしていますか」という問いに『している』と回答した小学6年生が86.0%に対して中学3年生では63.8%まで減少。**中学校で学習を進めるうちに家庭学習から離れてしまう子どもが増えている**という実態が明らかになりました。その一方で、学習塾などには中学生の方が高く、**中学生になると勉強する子としない子がはっきり別れる**傾向が見られます。

また当たり前のことですが、家庭学習時間と成績との相関関係を見ると、家庭学習の時間が多いほど正答率が高くなっています。特に興味深いのは、平日の学習時間が『2時間以上』と回答した人と『3時間以上』と回答した人では正答率がほとんど変わりません。かける時間も大事ですが、方法や集中力も大切だということです。一方で、『全くしない』と回答した人と『30分より少ない』と回答した人との正答率の差は10ポイント程度あり、少しでも毎日学習することが学力につながっていくことがわかります。

府中第二中学校では、家庭学習の定着のために、『学習マラソン』を全校的な取り組みとして進めています。

また、子どもたちに学力をつけるために、授業づくりを進めていくことに学校あげて取り組んでいます。今後も子どもたちの学力向上に向け、各家庭と連携していきたいと考えています。ご協力よろしくお願いします。

### 【やくそく】

- ① 学習する時こくを決め、自分からすすんで取り組みましょう。
- ② 静かな場所で、集中して取り組みましょう。(テレビやゲームは消す。)
- ③ 40～50分をめやすに学習しましょう。
- ④ 文字や数字、図形は、ていねいに書き、ノートを使い方を工夫しましょう。
- ⑤ ノートには、日づけ、勉強の題、始めた時こく、終わった時こくを書きましょう。
- ⑥ ドリルや問題に取り組んだ後は、必ず丸つけとまちがい直しをしましょう。

### ☆☆☆こんな学習に取り組んでみましょう☆☆☆

#### 【国語】

- ・新しい漢字の練習
- ・漢字や言葉の意味、使い方を調べる
- ・新しい漢字を使った文作りをする
- ・作文や日記、詩、俳句を書く
- ・本のしょうかいや感そう文を書く
- ・四字熟語、ことわざを調べる

#### 【算数】

- ・ドリルの計算練習
- ・問題作り
- ・教科書の問題で予習や復習をする
- ・三角定規や分度器、コンパスを使って図形作りをする

#### 【社会】

- ・教科書で習ったことをまとめる
- ・ニュースや新聞で知ったことをくわしく調べてまとめる
- ・県名を調べる(有名な場所、産業、食べ物、祭りなどに関連づけて)

#### 【理科】

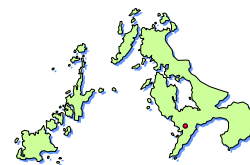
- ・教科書で習ったことをまとめる
- ・植物やこん虫の観察をする
- ・図かんなどを使って、植物やこん虫、生き物について調べたことをまとめる
- ・実験器具の名前や使い方をまとめる
- ・実験でわかったことをまとめる





【都道府県調べ】

長崎県



【土地・地形】…九州の北西部にあり、600近くの島からなっている。平地はあまりなく、多良岳や雲仙岳などがある。海岸の多くは複雑に入り組んだリアス式海岸である。長崎県の土地の約60%は森林である。

【生産物】…びわの生産量は日本一で、全国の生産量の約35%をしめている。水産業では、あじやさば、いわし、ぶりなどの水あげ量が多い。

【四字熟語調べ】

きそうてんがい

【奇想天外】

意味 普通では思いつかないような、風変わりできばつなこと。また、そのさま。

えんまんぐそく

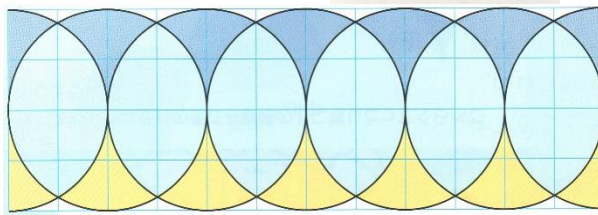
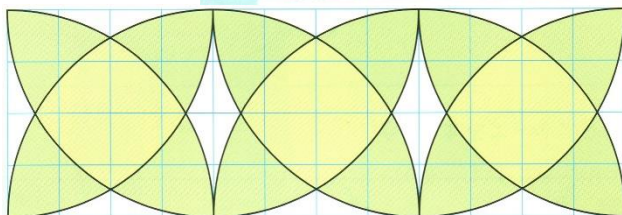
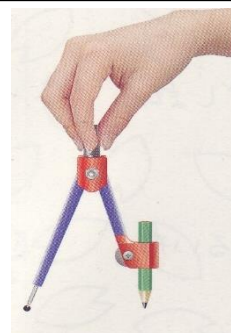
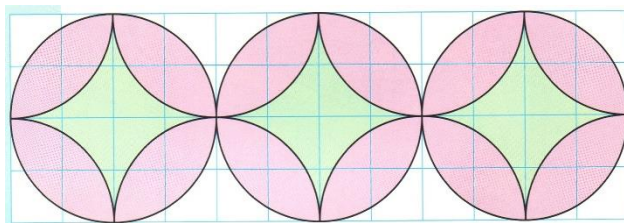
【円満具足】

意味 すべてが十分に満ち足りていて、何の不足もないこと。また、満ち足りているため顔つきがおだやかで、欠点がなくかどたたず、ゆったりとしている人のさま。

【大同小異】

意味 細かい点に違いはあるが、だいたい同じであること。にたりよったりで大した差のないこと。

【定規やコンパスを使ったもよう作り】





## 【やくそく】

- ⑦ 学習する時こくと学習内容を決め、自分からすすんで取り組みましょう。
- ⑧ 静かな場所で、集中して取り組みましょう。(テレビやゲームは消す。)
- ⑨ 60分をめやすに学習しましょう。
- ⑩ 文字や数字、図形は、ていねいに書き、ノートを使い方を工夫しましょう。
- ⑪ ノートには、日付、勉強の題、始めた時刻、終わった時刻を書きましょう。
- ⑫ ドリルや問題に取り組んだ後は、必ず丸付けと間違い直しをしましょう。

☆☆☆こんな学習に取り組んでみましょう☆☆☆

## 【国語】

- ・新しい漢字の練習      ・漢字や言葉の意味、使い方を調べる
- ・作文や日記、詩、俳句を書く
- ・本のしょうかいや感想文を書く      ・四字熟語、ことわざを調べる

## 【算数】

- ・ドリルの計算練習      ・問題作り      ・教科書の予習や復習をする
- ・三角定規や分度器、コンパスを使って図形作りをする

## 【社会】

- ・教科書で習ったことをまとめる
- ・ニュースや新聞で知ったことをくわしく調べてまとめる
- ・歴史上の人物について調べてまとめる
- ・時代の特徴について調べてまとめる
- ・グラフや資料の読み取り問題をする

## 【理科】

- ・教科書で習ったことをまとめる      ・実験器具の名前や使い方をまとめる
- ・実験でわかったことをまとめる      ・大切な言葉を復習し、まとめる
- ・興味のあることについて調べて、まとめる



【俳句】

きよの風

なに色だろう

いねはこぶ

さつまいも

空が見たいと

ころげ出る

天才は

一息つくとき

緑茶飲む

赤いバラ

私と同じ

トゲがある

(第二十二回 おーいお茶俳句大賞 より)

【ことわざ調べ】

【親しき仲にも礼儀あり】

意味

親しい仲になっても、互いに礼儀は守らないと疎遠になってしまうということ。人は心易い仲になって遠慮がなくなると、親しさに任せたま言動をしがちだが、そうするといさかいを起こす原因になりかねないといういましめ。

【宝の持ち腐れ】

意味

せっかく宝を持っているのに活用せず、しまいこんで朽ち果てさせてしまうという意味。このことから、優れた才能や手腕、役に立つ素晴らしい物などを持っているのに、その使い道や活かし方を知らなかったり、出し惜しみをしたりして、それを十分に利用できないでいることのたとえ。

【歴史上の人物についてまとめる】

豊臣秀吉 1536～1598年



豊臣秀吉は、1536年に農民の子として生まれ、23才の時、織田信長に仕えた。1582年、信長が明智光秀にうたれりと、信長の死からわずか10日目に光秀をうった。そのすばやさには他の武将たちはおどろいたという。その後、家康をしたがえることにも成功した。翌年には、朝廷から関白に任ぜられた。さらに、四国の長宗我部氏や九州の島津氏をせいふくし、小田原城で北条氏もほろぼした。続いて、伊達政宗ら東北の諸大名もしたがわせ、1590年、ついに天下統一をなしとげた。

秀吉は全国にわたって検地を行い、刀狩りもすすめた。国内統一がすむと、明を征服するため、2度にわたって朝鮮に兵を進めるが、朝鮮軍や明軍の抵抗にあい、失敗に終わった。

## 【ニュース調べ】

日本版 GPS「みちびき」2号機打ち上げ成功

6月1日、日本の準天頂衛星みちびき2号機を搭載したH2Aロケット34号機が、鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられました。その後、衛星は予定の軌道に投入され、打ち上げは成功に終わりました。

GPS…衛星利用測位システムのこと、電波で地上の位置を計測するためのシステムです。

《感想》

宇宙に向けて様々な取組がなされていることで、これからますます夢が広がっていくと感じました。しかし、今後、宇宙を巡るの各国のトラブルも起きないか心配にもなりました。世界中が協力し合ってよい方向に進んでいってほしいと思います。

自分の感想や考えたことも必ず入れるようにしましょう。

## 【顕微鏡の使い方】

1. 顕微鏡を、( ① ) で、直射日光の ( ② ) ところに置く。
2. ( ③ ) レンズを、一番 ( ④ ) 倍率にセット。
3. ( ⑤ ) レンズをのぞきながら、全体が明るくなるように、( ⑥ ) を調節する。
4. ( ⑦ ) を ( ⑧ ) にのせて、クリップで止めて  
真横から見ながら、( ⑨ ) レンズを ( ⑩ ) 。
5. ( ⑪ ) レンズをのぞきながら、( ⑫ ) を回して  
( ⑬ ) レンズを ( ⑭ ) ながらピントを合わせる。

■ステージ上下式顕微鏡



■鏡筒上下式顕微鏡



- ①平ら ②当たらない ③対物 ④低い  
⑤接眼 ⑥しぼり ⑦プレパラート  
⑧ステージ ⑨対物 ⑩近づける  
⑪接眼 ⑫調節ねじ ⑬対物 ⑭遠ざける

## 【本の紹介】

# ハリーポッター シリーズ 第1巻

～賢者の石～



ハリーが生まれたときの出来事や、ホグワーツの様子を詳しく知ることができます。ハリーポッターのシリーズを読んだことがない人はまずはこの本から読み始めるのがおすすめです。最後には大どんでん返しが……。意外な結末にきっと驚かされることでしょう。ジョンやハーマイオニーとのやりとりも必見です。

## 【鶴亀算】

### 問題 1

つるとかめが合わせて 9 ひきいます。足の本数は合わせて 26 本です。

つるとかめはそれぞれ何ひきいますか。

9 ひき全てがつると仮定すると、足の本数は、

$$9 \text{ ひき} \times 2 \text{ 本} = 18 \text{ 本}$$

実際には足の本数は 26 本だから、全てがつると仮定したときとの差は、

$$26 \text{ 本} - 18 \text{ 本} = 8 \text{ 本}$$

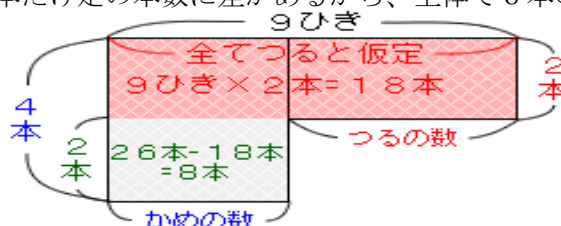
つるとかめは 1 ひき当たり 4 本 - 2 本 = 2 本だけ足の本数に差があるから、全体で 8 本の差が出るということは、かめの数は、

$$8 \text{ 本} \div 2 \text{ 本} = 4 \text{ ひき}$$

よって、つるの数は、

$$9 \text{ ひき} - 4 \text{ ひき} = 5 \text{ ひき}$$

(答) つる 5 ひき かめ 4 ひき



## 【人物調べ】

《星野富弘》

群馬大学を卒業後、中学校の先生になるが、クラブ活動の指導中に首の骨を痛めてしまい、手足の自由を失う。

病院に入院中、口に筆をくわえて文や絵を描き始める。

その作品は、群馬県にある『富弘美術館』をはじめ、多くの場所で公開されている。



《感想》

富弘さんの描く作品や言葉にはとても心をうたれます。ぜひ富弘美術館に行って他の作品も観てみたいと思いました。

## 【気になった出来事調べ】

《8月15日は『終戦の日』？『終戦記念日』？》

8月15日、メディア各社が終戦のことを報じているが、「終戦記念日」といったり「終戦の日」といったり、各社の表現がまちまちだった。

NHKは「終戦の日」を使うそうだ。その理由として次のように述べている。

8月は終戦や原爆・空襲など、先の大戦に関するニュースや番組がさまざまな形で放送されます。このうち、終戦を迎えた15日を「終戦記念日」と表現することに抵抗を感じる人も多いので、放送では「終戦の日」といっています。広島と長崎に原爆が投下された6日と9日も、「原爆の日」という表現をしています。

《感想》同じ日でも相手の気持ちを考えて使い分けているのがいいことだと感じた。

## 国語

## 国語の力を伸ばすために

## 【授業で大切なこと】

何よりも、授業の中で自分から進んで文章に向かって、いろいろなことを感じたり、発見したり、考えたりしながら「読む」ことを大切にしてください。そして、次に、自分が感じたり、発見したり、考えたことを「話してみる」「書いてみる」ことを大切にしてください。話すことは恥ずかしい、書くことは難しいと思っている人もいるかもしれませんが、自分の考えと同じ考えに出会うことで、考えが深まります。また、自分とは違う考えに出会うことで、考えが広がります。言葉の力を伸ばすのに近道はありません。少しずつ、自分の言葉を紡いでいくことで国語の力は伸びていくのです。

## 【家庭学習】

本をたくさん読みましょう。映画をたくさん見ましょう。その中で知らない漢字や言葉に出会ったら、頭に焼き付けてください。魅力的な言葉の言い回しを覚えてください。学ぶ意識を持って多くの言葉に触れることが、国語の家庭学習です。

## 【テスト勉強】

授業で学んだこと、授業で自分が考えたことを、人に説明できるようになりましょう。プリントの見直し、ワーク学習も重要ですが、それだけでは不十分です。学んだ内容を自分の言葉で人に説明できるか、が重要です。勉強した内容について、「ここは～となっているのだ」「～という風にも考えられないか」などと友達同士で語り合えるようになったならば、それはテスト勉強が順調に進んでいる証です。

## 学習方法

## 【漢字・語句の学習】

教科書本文の新出漢字や問題集の漢字を、何度も声を出して音読しましょう。漢字は書いて覚えます。自分で小テストを行い、書けなかった漢字だけさらに書いて練習します。

## 【問題集・ワークの活用】

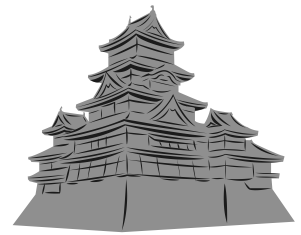
問題集やワークは提出期限を守り、ていねいな文字で答えを書きます。答えを丸写しするのではなく、自分なりに答えを出しましょう。



# 社会

## 《授業を大切に》

1. 忘れ物をしない。
2. 先生の話をよく聞く。
3. ノートをかならずとる。(先生が黒板に書いたこと以外でも、気付いたことをメモしておく)
4. 自分で考え、手を上げて発言する。分からないことは質問する。
5. プリントなどは、なくさないようにファイルにとじる。



## 《家庭学習をしよう》

1. 前の日に教科書を読んで、次の授業で何の学習をするのかについて、あらかじめ知っておく。
2. その日にやった授業のノートを見て、授業の内容を思い出す。(書いてあることで、よくわからないことがあれば、次の日に先生や友だちに質問をしてわかるようにする)
3. ワークを活用し、授業でやった内容を復習する。
4. 提出物は期限までに完成してかならず出す。

## 《テスト・・・授業で学習したことを出題します》

1. ノートや教科書を何回も見直して、授業の内容を思い出す。
2. 地図や資料なども必ず確認をする。
3. テスト勉強用のプリントがある場合は、何回もやって覚える。
4. ワークなどの問題集を使って、問題を解く練習をする。
5. テストで間違えたものは、もう一度復習する。

## 《楽しく力をつけよう》

1. テレビのニュース番組や新聞を読む習慣をつける。(ニュースは最初の10分間、新聞はタイトルを見るだけでも、効果があります。)
2. テレビの報道番組、ドキュメンタリー、紀行番組、歴史ドラマなどを見る。できれば家族の人と一緒に見て、感想を述べあう。
3. 知らない地名がでてきたら、地図で探す習慣をつける。わからない言葉は調べたり、人に聞いたりする。
4. 旅行などに行くときは、ただ連れて行ってもらうのではなく、どこを歩いてどこへ行くのかを、自分で地図などで確認して確かめる。



# 数学

## 数学の力をつけるためのポイント

### ① 授業を大切にす

- 遅刻、忘れ物をしない。
- 考えたことは発言する。
- 説明を聞くととき、ノートに書くときの区別をつける。  
先生の説明は集中して聞く。  
ノートはただ写すだけではなく、理解しながら書く。
- わからないことは質問する。



説明を聞いてわからなかったことはそのままにしない。授業中先生が説明をしていない時間などを利用して先生に質問したり、授業後に先生や班の人に聞いたりして、その日のうちに理解することが大事です。

### ② 家庭学習をがんばる（復習を中心に！）

- 宿題は必ずやってくる。  
授業で習ったときには分かっているつもりでも、何もしないでいると時間がたてば忘れてしまうものです。宿題はその日に習ったことをもう1度復習するためのものです。必ず自分の力でやりましょう。
- ワークの習った範囲の問題を解く。  
解答を当てにしないでまず自分の力で解いてみる。結果よりも途中の計算をしっかりと書きましょう。  
やった後はすぐに答え合わせをする。（せっかくやっても、やりっ放しは自分の間違いに気が付きません。）  
間違えたものはすぐにやり直して、どこで間違えたのかを確認する。  
一度だけではなく、くり返しやると力がつきます。
- 自主勉強に取り組む。  
さらに自主的に学習をしよう。学校で出されたプリントを活用することも一つの方法です。また自主勉強ノートに、学校で学習をしたことをもう1度整理したり、教科書の問題をやることも大切です。  
また、自分にあった（難しすぎない）問題集を買ってきてやることも大事です。ただし、あまり分厚くないもの、解答の解説ができるだけくわしいものを選ぶことがポイントです。

# 理科

## ☆理科の全体的ポイント

理科の学習は、自然のいろいろなことに疑問をもつことから始まります。疑問をもって観察や実験を行っていくことによって、科学的に調べる能力や考える力がついてきます。積極的に授業に参加していきましょう。特に観察や実験は重要ですので、班で協力して取り組みましょう。

また家庭では、その日に習ったことを復習することが大切です。その日に習ったところの教科書とノート（プリント）を開いて、授業で習ったことを思い出しながら復習していきます。授業では重要なポイントとなる部分が必ずあります。重要なポイントは先生が何度も説明したり、授業の最後で「まとめ」をしたりした部分です。ポイントを中心に復習すれば、効果的に学習することができます。また家庭での学習は、定期考査前にまとめてしてもあまり効果はありません。理科の授業があった日ごとにしましょう。

## ☆授業のポイント

- ①先生の話をしっかり聞きましょう。
- ②黒板をしっかり写しましょう。  
(先生の話聞く時間と、書く時間を区別しましょう。)
- ③積極的に発言をしましょう。
- ④観察や実験は班で協力して取り組みましょう。
- ⑤班で教え合いながら学習に取り組みましょう。
- ⑥分からないところは、どんどん先生に聞きましょう。

## ☆家庭学習のポイント

- ①授業での重要ポイントを中心に復習をしましょう。
- ②復習は授業のあった日に行うと効果的です。
- ③宿題は忘れず、しっかり出す習慣をつけましょう。

## ☆最後に・・・

学校の授業と家庭学習はバランスが大切です。学校の授業に集中し、家庭学習でしっかり復習すれば、定期テストの前にあわてることもなくなります。自然のさまざまな現象に興味や関心をもって取り組めば、学習の効率が上がってきます。また、小学校から積み上げて理科の学習は進んでいきます。小学校で学習した理科の内容だけでなく、算数の内容（小数や分数の計算など）の復習も大切になります。また、中1で学んだことが中3で活用されることも多々あります。学年の終りには、1年間の復習をすると良いと思います。



# 音楽

## ◇授業について

- ♪「一人ひとりが楽しく参加する」ということが出来るよう、そのためにはどうすれば良いかを考え、互いに協力して取り組めるようにする。
- ♪「苦手」「うまくできない」という理由で歌わないより「苦手でも良い！音が外れても良い！一生懸命大きな声で歌う！」という積極的な姿勢を心がける。
- ♪一生懸命がんばっている仲間を認め、共にがんばることのできる環境を作る。  
※頑張って歌っている人をからかうような言動が見られた場合は、厳しく減点。
- ♪「こんな風に歌いたい！」など、一つひとつの曲に、自分なりのイメージを持つようにし、それを積極的に表現する。

## ◇学習方法・テスト・評価について

### 実技テスト（歌・リコーダー）

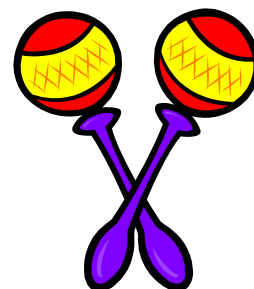
- 授業の区切りの良いところで実施。（学期によって回数は異なります。）

### 筆記テスト

- 学期最後の「定期考査」は30分でできる内容の問題を出題。
- 内容は、授業で学習したもの（教科書やプリント、先生が授業で話したこと等）

## ◇その他

- テストは評価の対象ですが、授業中の意欲や態度を重視します。普段の授業はほとんど歌わずに、テストだけ歌えても評価は上がりません。
- 提出物は決められた期限を守って提出して下さい。（評価資料に含めます。）
- 普段の家庭学習は特に必要ありませんが、リコーダーは人により上達の色度に差がでるので、苦手な人は休み時間などをうまく活用して練習しましょう。
- 色々な音楽に触れる機会を大切にしてください。定期考査前は、授業の復習をしっかりとしましょう。
- 授業で一生懸命歌い、演奏することが評価にも結びつき、技術も向上させます。  
毎時間の授業を大切にしましょう！！



# 美術

## 1. 学習する内容

学習する内容は、大きく分けて『絵画』『デザイン』『工芸』などの作品で表現する分野と『鑑賞』見て感じてそれをレポートで表現する分野の2つがあります。

週1時間の週が25週間。週2時間の週が10週間あります。

## 2. 授業を受ける上での心構え

- ① 「早く終わらせよう」とか「人と同じならいいや」ではなく、「人と違っていい」（個性）「良いものをつくろう」（工夫）という気持ちが大切です。
- ② 作品制作に時間がかかるのは、悪いことではありませんが、期限を守きちんと守りましょう。（提出が遅れると減点）
- ③ 制作に集中し、集中力を持続させましょう。周りの人の動きに惑わされず、丁寧に作品を制作しましょう。
- ④ 忘れ物をしないように注意しましょう。（忘れ物は減点）
- ⑤ 自分の作品、友達の作品を共に大切にしよう！

あなたの作品は、あなたの心が作らせます。作品を粗末にすることは自分の心を粗末にすることです。（返却された作品はその日のうちに持ち帰りましょう。）

## 3. 評価について

作品だけでなく、授業態度、学習カード、プリント提出、レポート、作品、定期テストを合わせて評価します。

○授業態度（授業遅刻・授業態度・忘れ物など）

○作品（丁寧さ、工夫、完成度）

※作品の制作過程（アイディアスケッチや下書き提出などがあります。）

提出物の提出方法や締め切りを守りましょう。

## 4. 美術は何に役立つの？

### ① 生活を潤わせる

何気なく使っている文房具やカバンなどの小物、部屋のレイアウト、家具の配置や色の組み合わせを考えたり、センスの良いバランスを見つけたりと、美術の学習で培った力は生活に彩りを与えてくれます。色彩や文字の配置などデザインの基礎を勉強することで、伝わりやすいポスターやチラシなどをデザインすることもできます。

### ② 見方を豊かにする

基礎知識を持たなければ作品は一瞬で見終わりますが、作者が何を表現しようとしたのが、どんな技法や材料が使われているのかなど、作品のについて知ることで、見方が深まります。



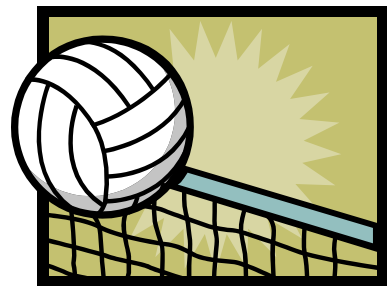
# 保健体育

## 授業について

- ・ 一人ひとりの「やる気」が大切です。何事にも一生懸命取り組もう！
- ・ 協力や教え合いをしながらみんなで上達していこう。
- ・ 更衣を早くすませて授業に遅れないようにしよう。
- ・ 授業中は集中し、緊張感をもって活動し、ケガや事故に気をつけよう。
- ・ 苦手種目や苦しいことから逃げずにがんばる力をつけよう。
- ・ 見学の時は、保護者に生徒手帳の連絡欄に理由を記入してもらって提出して下さい。
- ・ 見学時は原則として、体育着です。

## 家庭学習について

- ・ 自分の健康管理をできるだけ自分でしよう。
  - ①十分な睡眠をとる。(早寝・早起き)
  - ②十分な栄養をとる。(好き嫌いをなくす。間食しすぎない)
  - ③適度な運動をする。
- ・ 健康・スポーツに関するテレビを見たり、記事、本などを読んで自分の生活や体力づくりに役立てよう。



# 技術・家庭科

## 技術

物づくりを中心に学習しています。

## 家庭

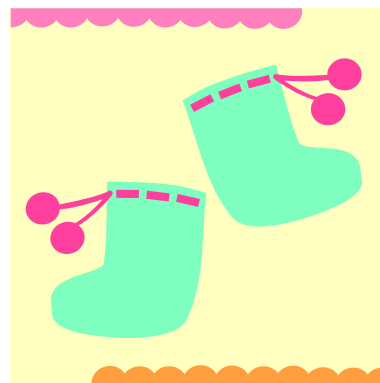
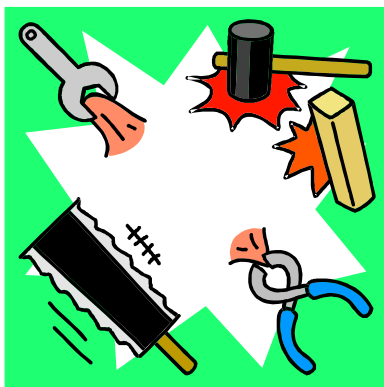
衣食住と保育と家族や地域について学習しています。

授業は説明が中心の場合と、実習が中心になる場合があります。授業は集中力をもって受け、忘れ物は絶対しないように気をつけましょう。

実習が中心の場合は、途中であきらめたりしないで、とにかく完成まで取り組むことが大切です。そして実習に利用する道具は大切にしてください。

広い意味での家庭学習では、家事（洗濯・調理・食器洗い・整理整頓・家族の世話）をすすんで行き、家族の一員としての役割を果たすとともに、いろいろな作業を経験することにより、能率良く作業を進める方法を考える意欲と姿勢を養いましょう。

授業の補足としての家庭学習は、テスト前を中心に復習をしましょう。方法は、①-ノートやプリントをもう一度見なおして学習内容を確認する。②-実習を振り返り、作業の内容をもう一度思い出す。③-さらに作業の注意事項を思い出し、その理由も理解しておく。という3つのことがポイントです。





# 英 語

## 英語はトレーニング！

★★★ 英語マスターへの道 ★★★

- ① 授業に集中！内容を理解し、活動に積極的に参加する
- ② 自ら家庭学習に取り組む
- ③ 覚えた英語をどんどん使う

### 授業編

- ①間違いを気にしないで表現しよう
  - ・・・間違うのは当たり前！英語で表現することに挑戦していこう！
- ②教科書などの文は大きな声で読もう
  - ・・・大きな声で読み、体に英語のリズムやアクセントをしみこませよう
- ③くり返し、まねて言う練習をしよう
  - ・・・単語でも文でも歌でもよく聞いて、まずは口まねから始めよう
- ④ていねいに書こう
  - ・・・授業中ノートに英語を書くときは、心の中で発音しながら書いて、つづりを覚えよう
- ⑤持ち物をそろえよう
  - ・・・授業に使うものは毎回そろえ、授業に役立てよう

### 家庭学習編

- ①宿題：授業で勉強したことを思い出しながら、その日のうちにていねいにやろう
- ②自主学習：自分なりの工夫で、学習内容を確実なものにしていこう

例えば・・・

- 1) 単語や英文を覚えるまで何回も書いて練習する
- 2) 授業で習った範囲のワークをやってみる・・・などなど
- ③チャンスを見つけて、生の英語に触れよう
  - ・・・テレビ、映画、洋楽、ラジオ（基礎英語）など、チャンスはたくさんあります。  
ふだんの生活の中でも英語に関するアンテナを張っておきましょう。

### テスト対策編

テスト範囲の内容を授業や家庭学習でしっかりと理解しておくことが、テスト対策を上手く進めるための鍵となります。テスト前に必ずワークなどを終わらせ、テスト範囲の理解と演習に励みましょう。授業で身につけた英語の力を、テストで発揮するために、正確に力を身につけておきましょう。

※ 各学年の詳しい学習方法や内容は、授業最初のオリエンテーションでシラバスを使用し、説明します。





**年 組 番 名 前**